

ASLOC

低層建物用階段・外廊下部材

(2008.10)

《目 次》

はじめに	2
特 長	2
用 途	2
施 工 例	3
物 性	5
許容支持スパン早見表	5
取付詳細図	6
取付詳細図	7
アスロックの組合せ幅の例	8
アスロック断面形状図	9
副資材	10
廊下・階段割付参考例	11
A 階段鉄骨伏図	12
B 階段鉄骨伏図	12
設計の留意点	13
維持管理の注意点	13
免責事項	13

はじめに

アスロックは、階段・廊下の組立を画期的に簡素化し、お客様の求める居住性・安全性・機能性・耐久性・耐候性を実現しました。限られた敷地を最大限に活かし、住む人のあらゆるニーズやプランにお応えします。

特 長

工期短縮

- ・アスロックは従来のシンダーコンクリート打設床に較べて、工期が大幅に短縮できます。
- ・アスロックは施工後特別な養生が不要で直ちに歩行が可能です。

居住性が抜群

- ・アスロックは従来の鉄骨階段に比べ歩行感がよく、階段昇降時の足音が小さく居住性に優れています。

安全性が抜群

- ・アスロックはワイヤーが入っていますので、水平部材としての安全性を十分確保しています。

機能性が抜群

- ・アスロックは吸水性が低く、防水機能としての立ち上がり付並びに排水機能としての溝付の形状を有し、防水性が非常に優れています。

耐久性・耐候性が抜群

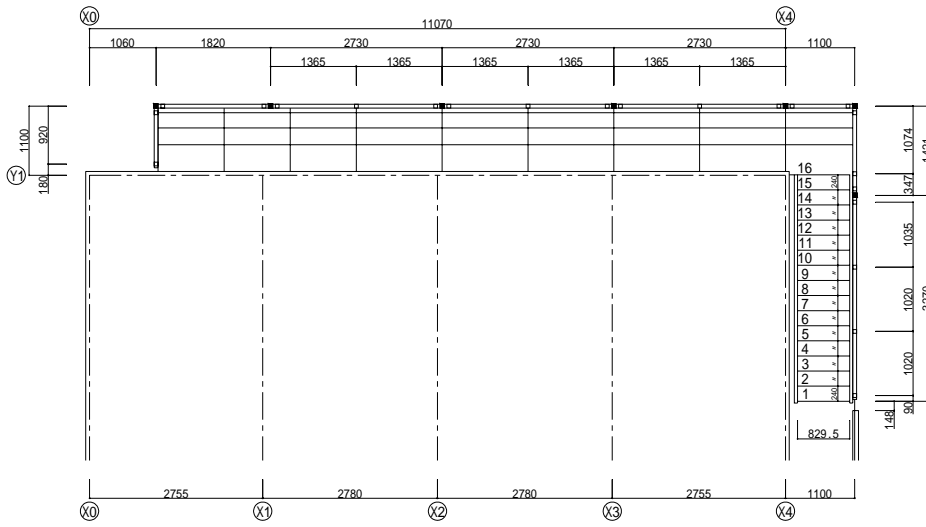
- ・アスロックは完全無機質ですから、耐久性・耐候性に非常に優れています。
- ・アスロックは乾式工法の為、階段・廊下部分からの錆びの発生が少なく、景観に優れています。

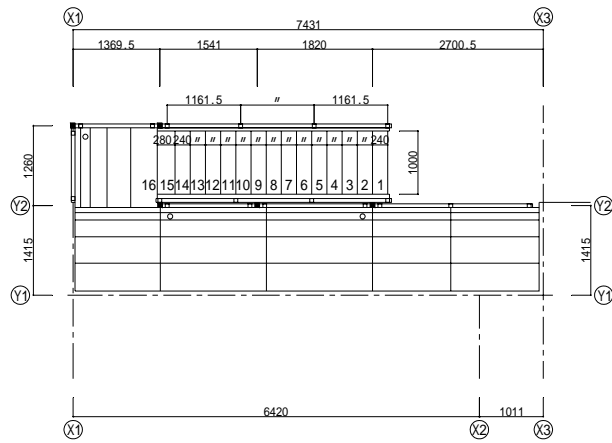
用 途

外部廊下の床

踊り場及び階段踏み板

ベランダの床





物 性

項 目		性 能
重 量	素材部比重	1.9 前後
	単位重量	18 ~ 36 kg / m
強 度	曲げ強度	17.6N / mm ²
	ヤング係数	2.5 × 10 ⁴ N / mm ²
水	含水率	8%以下
	吸水率	16%以下
火	不燃	不燃 NM-1240
凍 害	耐凍結融解性能	良

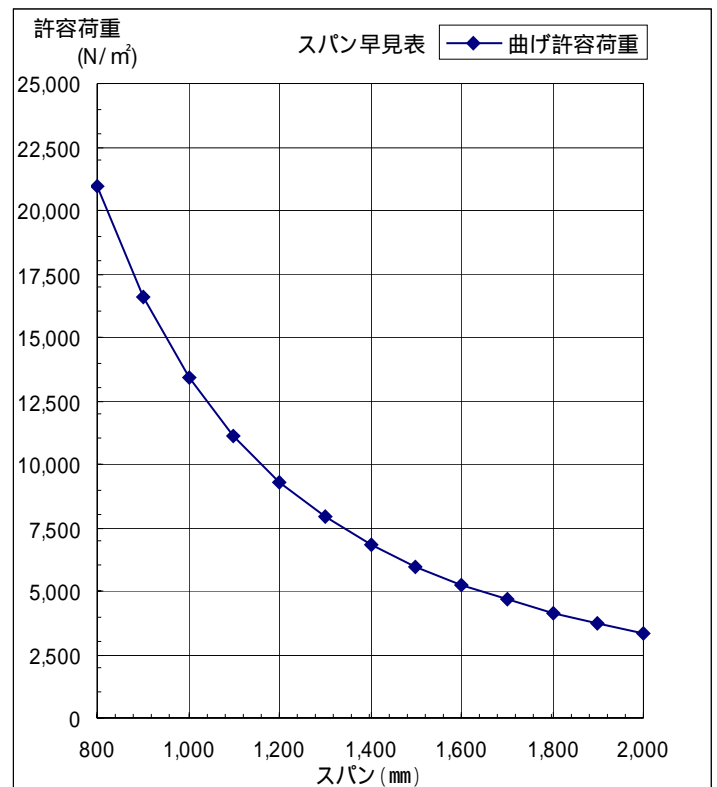
基材精度

	長 さ	面 幅	総 厚	直 線 性	反り (短辺)	反り (長辺)
精 度	± 1.5 mm	+ 2 mm - 3 mm	+ 1 mm - 2 mm	1.5 mm / m	2.5 mm / m	1.0 mm / m

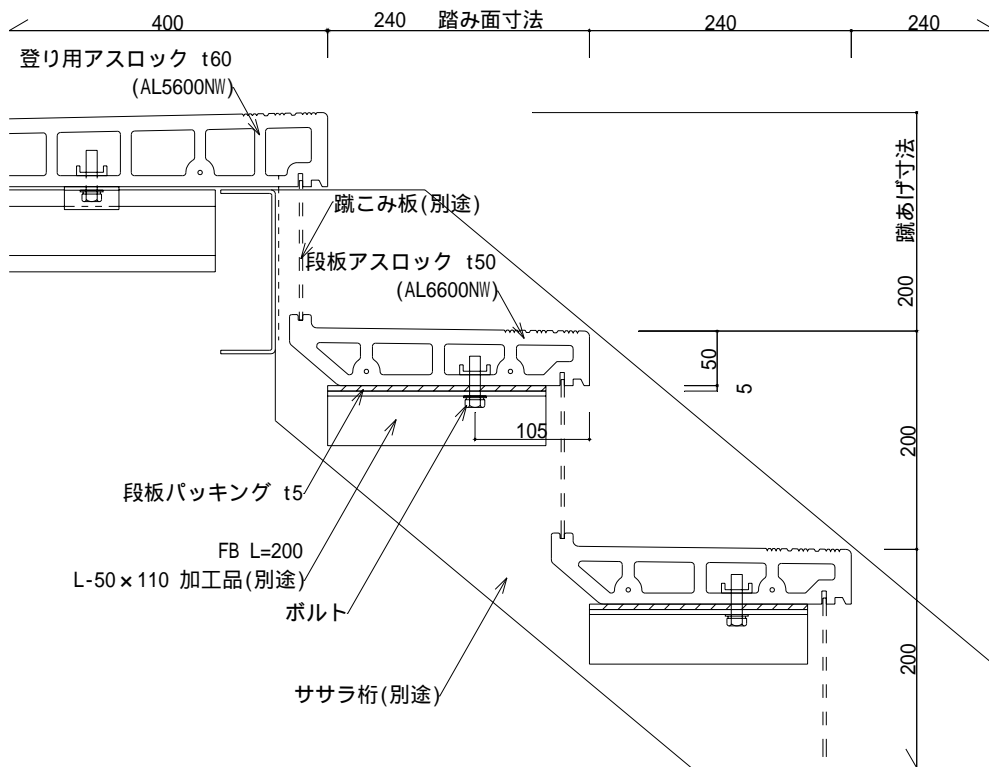
許容支持スパン 早見表

スパン (mm)	等分布許容荷重 (N / m ²)
800	20,979
900	16,576
1,000	13,426
1,100	11,096
1,200	9,324
1,300	7,945
1,400	6,850
1,500	5,967
1,600	5,245
1,700	4,646
1,800	4,144
1,900	3,719
2,000	3,357

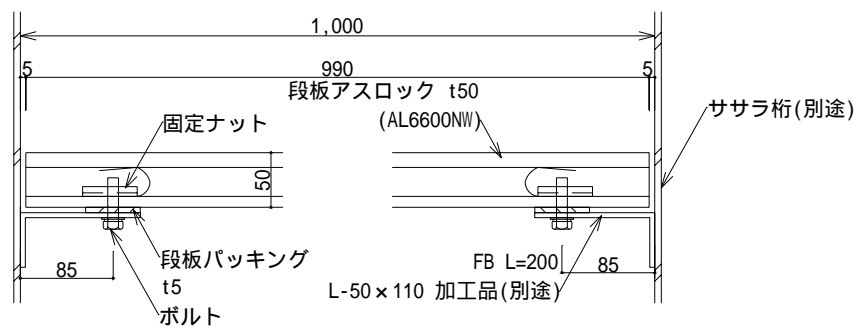
(A L 2 6 1 5 NW の場合)



取付詳細図



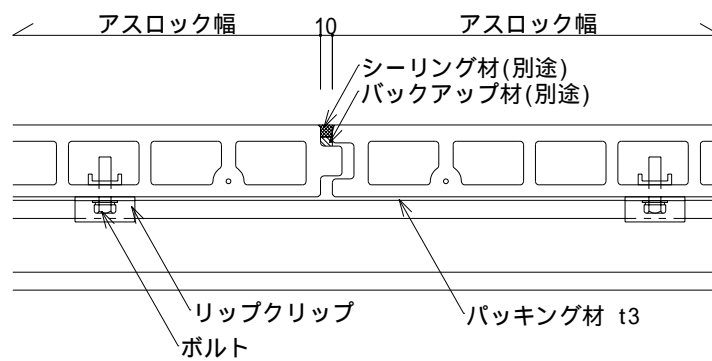
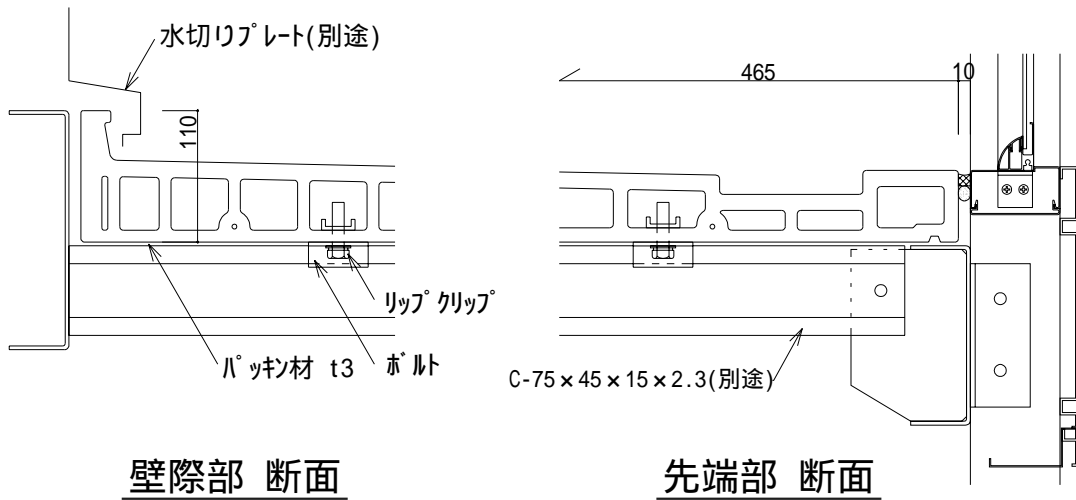
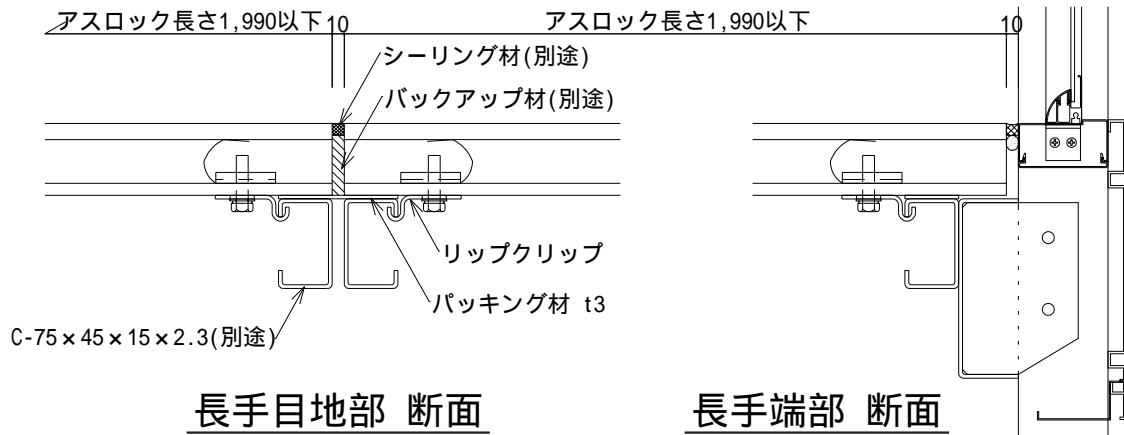
階段板(幅990用) 断面



階段板(幅990用) 断面

階段部のササラ桁は、ブレース等で補強をお願いします。
 (廊下・階段割付参考例・階段鉄骨伏図参照下さい)

取付詳細図



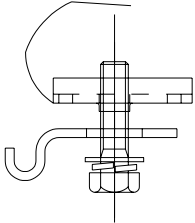
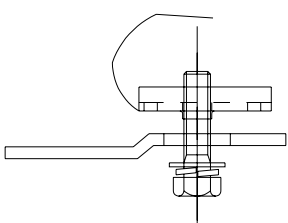
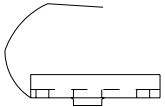
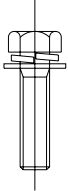
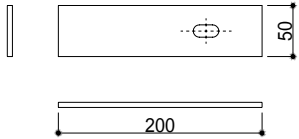
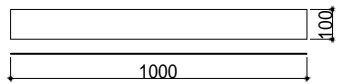
アスロックの組合せ幅の例

部位	タイプ	組 合 せ	幅(mm)	重量(kg/m)
廊 下 部	A	<p>AL4600NW (先端用) AL2615NW (中用大) AL2615NW (中用大) AL6901NW (立上り用)</p> <p>465 10 560 10 560 10 425</p> <p>2,040</p>	2,040	132
	B	<p>AL4600NW (先端用) AL2615NW (中用大) AL6901NW (立上り用)</p> <p>465 10 560 10 425</p> <p>1,470</p>	1,470	96
	C	<p>AL4600NW (先端用) AL2611NW (中用中) AL6901NW (立上り用)</p> <p>465 10 450 10 425</p> <p>1,360</p>	1,360	91
	D	<p>AL4600NW (先端用) AL2625NW (中用小) AL6901NW (立上り用)</p> <p>465 10 360 10 425</p> <p>1,270</p>	1,270	86
	E	<p>AL4600NW (先端用) AL6901NW (立上り用)</p> <p>465 10 425</p> <p>900</p>	900	60

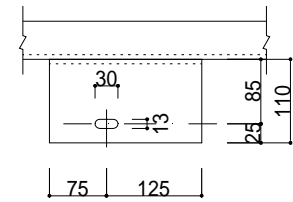
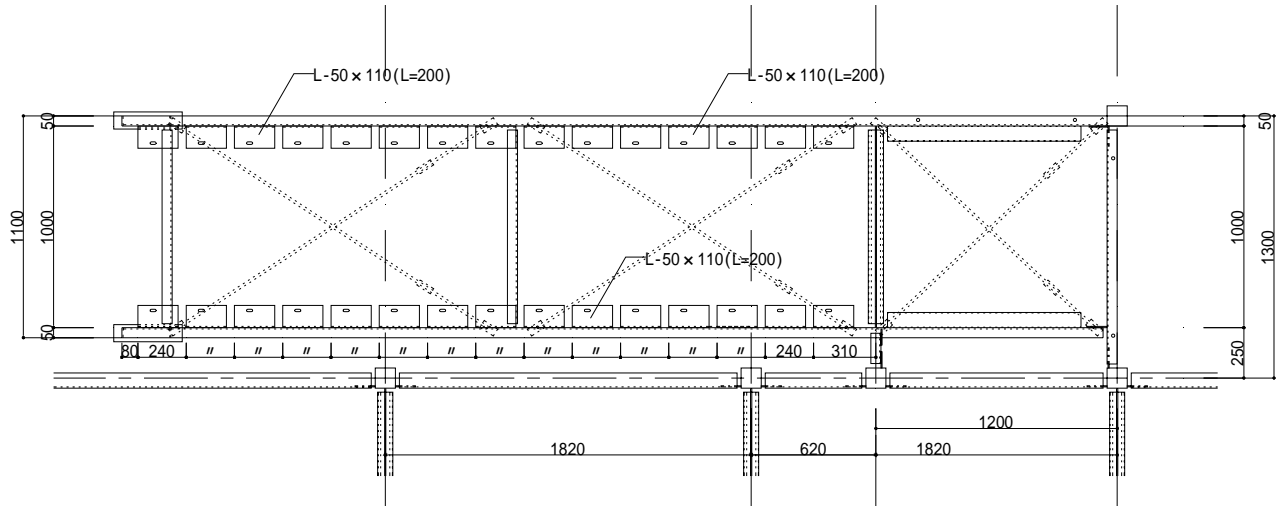
アスロック断面形状図

品名	形状	重量(kg/m)
AL2625NW (中用小)		26
AL2611NW (中用中)		31
AL2615NW (中用大)		36
AL5600NW (登り用)		30
AL6901NW (立上り用)		31
AL4600NW (先端用)		29
AL6600NW (段板)		18

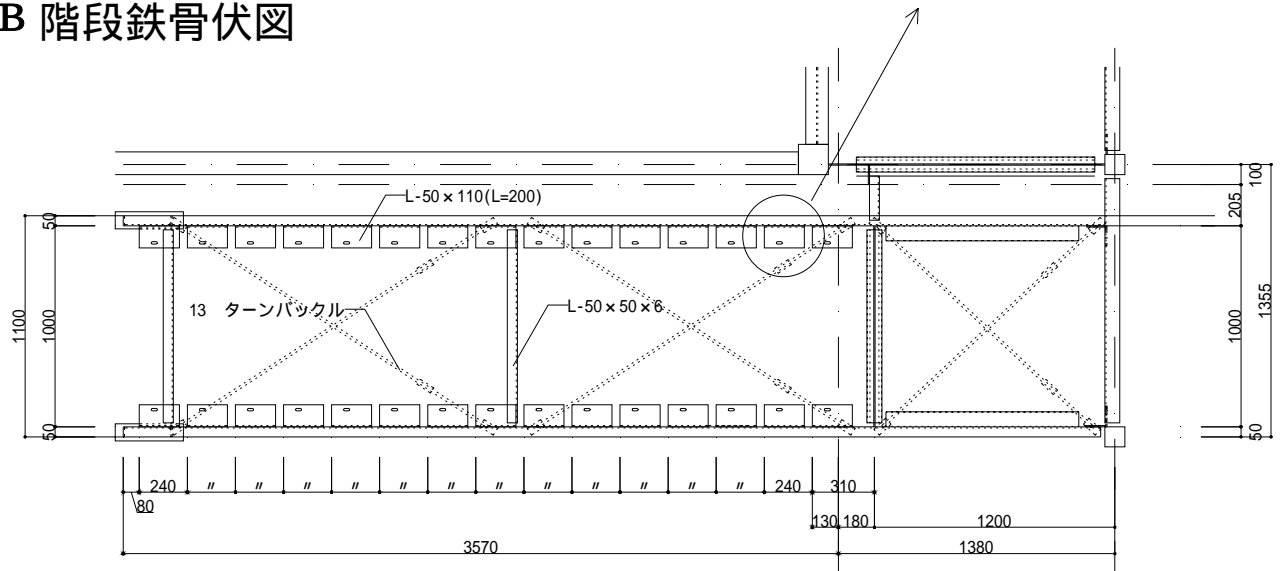
2. 副資材

リップクリップ セット		<p>スチールプレート (ss400) 加工品 厚 3.2 以上 融解亜鉛メッキ処理 (JIS H 8641) HD2 40、400g/m²以上</p>
Zクリップ セット		<p>スチールプレート (ss400) 加工品 厚 4.5 以上 融解亜鉛メッキ処理 (JIS H 8641) HDZ 40、400g/m²以上</p>
固定ナット		<p>スチールプレート (ss400) 加工品 厚 2.6 以上 融解亜鉛メッキ処理 (JIS H 8641) HDZ 40、400g/m²以上</p>
ボルト		<p>ステンレス製 (sus304) BM10-40</p>
段板パッキング t5		<p>EPDM ゴム板 硬度 60° L=200</p>
パッキング材 t3		<p>クロロプレン発砲ゴムスポンジ 硬度 30° L=1000</p>

A 階段鉄骨伏図



B 階段鉄骨伏図



設計の留意点

1. 耐火構造・準耐火構造の必要な部位には使用できません。
2. アスロック長さは廊下材で 1,990 mm、階段材で 990 mmまでとします。
3. アスロックはセメントを主原料にしておりますのでエフロレッセンス(白華)現象により色むらが出ることもあり、また同一ロット間でも色違いが発生しますが、物性上は問題ありません。
4. パネル裏面には油ジミがついてしまいます。製造ライン上で必ず付着するもので、廊下裏面には軒天パネルをつけることをお勧めします。
5. アスロックのパネル割付は標準巾品で行ってください。
6. 積雪地帯での使用は凍害の恐れがありますので雪、雨水の吹き込み防止の処置をしてください。
7. アスロック板間シーリングは雨水が直接かかる範囲まで施工してください。
8. アスロック施工後に配管等の穴をあける際は、配管工事において周囲のシーリングを行ってください。
9. 洗濯機・クーラー等からの排水は、排水孔を設けてください。

維持管理の注意点

1. アスロックの留め付け金具には触れないでください。
2. シーリング切れ、ヒビわれ等は雨水の侵入によるアスロックの劣化及び下地材の腐食の原因になりますので定期的に点検し、切れ、ヒビ割れ等があった際は、速やかに補修又は打ち替えをしてください。
3. 洗浄時などは金タワシ、ワイヤーブラシ、鋭利な金属等のご使用はお避けください。
4. 積雪によりアスロックに雪が積もったところは、速やかに積雪を除去するようにしてください。
5. 万一、アスロックを外部からの衝撃等で破損した場合は速やかに張替えしてください。
商品に関してのご不明の点がありましたら当社にご相談ください。

免責事項

アスロックは住宅等の廊下、階段部材としての性能を備えております。しかし、正しい施工と維持管理があつて初めて諸性能を満足します。万一、アスロックに不具合が発生した場合は、以下の免責事項を踏まえた上でご相談ください。

1. 設計資料などに記載された事項に準じない施工、取り扱いに起因する不具合。
2. 経年変化によるパネルの反りに起因する不具合。
3. 施工業者による施工、取り扱い、保管時濡れ等に起因する不具合。
4. 建物の構造体に起因する不具合。
5. 飛散物、物品等、外部からの物理的原因に起因する不具合。
6. シーリング材等の不具合やメンテナンス不足によって発生した漏水に起因する不具合。
7. 開発、製造、販売時に通常予測される環境(温度、湿度、湿潤、気圧)以外での使用に起因する不具合。
8. 使用者の維持管理不注意、使用者または第三者の故意、過失による不具合。
9. 引渡し後の後工事あるいは増築、補修などが行われたことに起因する不具合。
10. 許容を超えた機器等の取り付けに起因する不具合。
11. 不可抗力(天災地変、地盤沈下、火災、爆発、騒乱、公害等)による不具合。
12. 瑕疵を発見後、速やかに届出されなかった場合、及び不具合が放置されたことによる不具合。
13. 弊社からの書面による改善要求に対し、改善を行わなかったことに起因する不具合。
14. 苔、藻、カビ等の発生及び通常の経年変化による汚れや変色。
15. その他、不具合の原因が当社製品品質によらないと認められる場合。

札幌支店	〒060-0042	札幌市中央区大通西1丁目14番2(第2有楽ビル)	(011)261-8291	FAX (011)207-6380
仙台支店	〒980-0014	仙台市青葉区本町1丁目1番8号(第一日本オフィスビル)	(022)225-7986	FAX (022)217-3734
東京支店	〒104-0033	東京都中央区新川1丁目24番8号(東熱新川ビル)	(03)5540-6711	FAX (03)5540-6712
静岡営業所	〒420-0858	静岡市葵区伝馬町9-11(原科ビル)	(054)652-1061	FAX (054)254-8004
名古屋支店	〒451-0045	名古屋市西区名駅3丁目10番17号(IT名駅ビル2号館)	(052)541-5700	FAX (052)541-5707
北陸営業所	〒920-0853	金沢市本町1丁目5番1号(リファール)	(076)260-1135	FAX (076)260-1255
関西支店	〒650-0035	神戸市中央区浪花町15番地	(078)391-1651	FAX (078)333-4143
広島支店	〒730-0041	広島市中区小町3番25号(住金物産広島ビル)	(082)245-3257	FAX (082)504-0368
松山営業所	〒790-0067	松山市大手町2丁目9番4号(石丸ビル)	(089)933-5828	FAX (089)933-5834
九州支店	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前1丁目4番4号(JPR博多ビル)	(092)474-0868	FAX (089)437-2626
住宅建材部	〒650-0035	神戸市中央区浪花町15番地	(078)333-4172	FAX (078)393-7019
住宅建材部 東京グループ	〒104-0033	東京都中央区新川1丁目24番8号(東熱新川ビル)	(03)5540-6511	FAX (03)3552-4820
本社	〒650-0035	神戸市中央区浪花町15番地	(078)333-4111	FAX (078)393-7019

ノザワホームページアドレス <http://www.nozawa-kobe.co.jp>